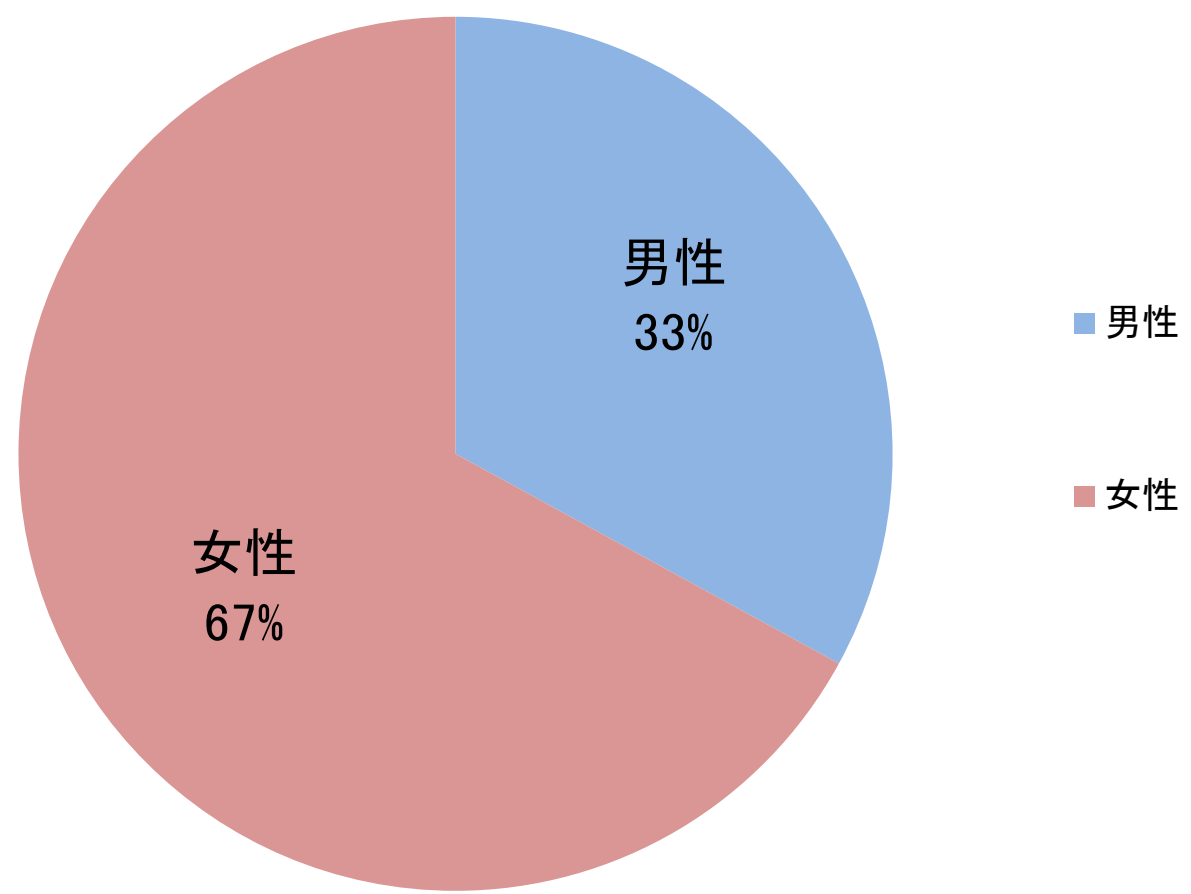


---

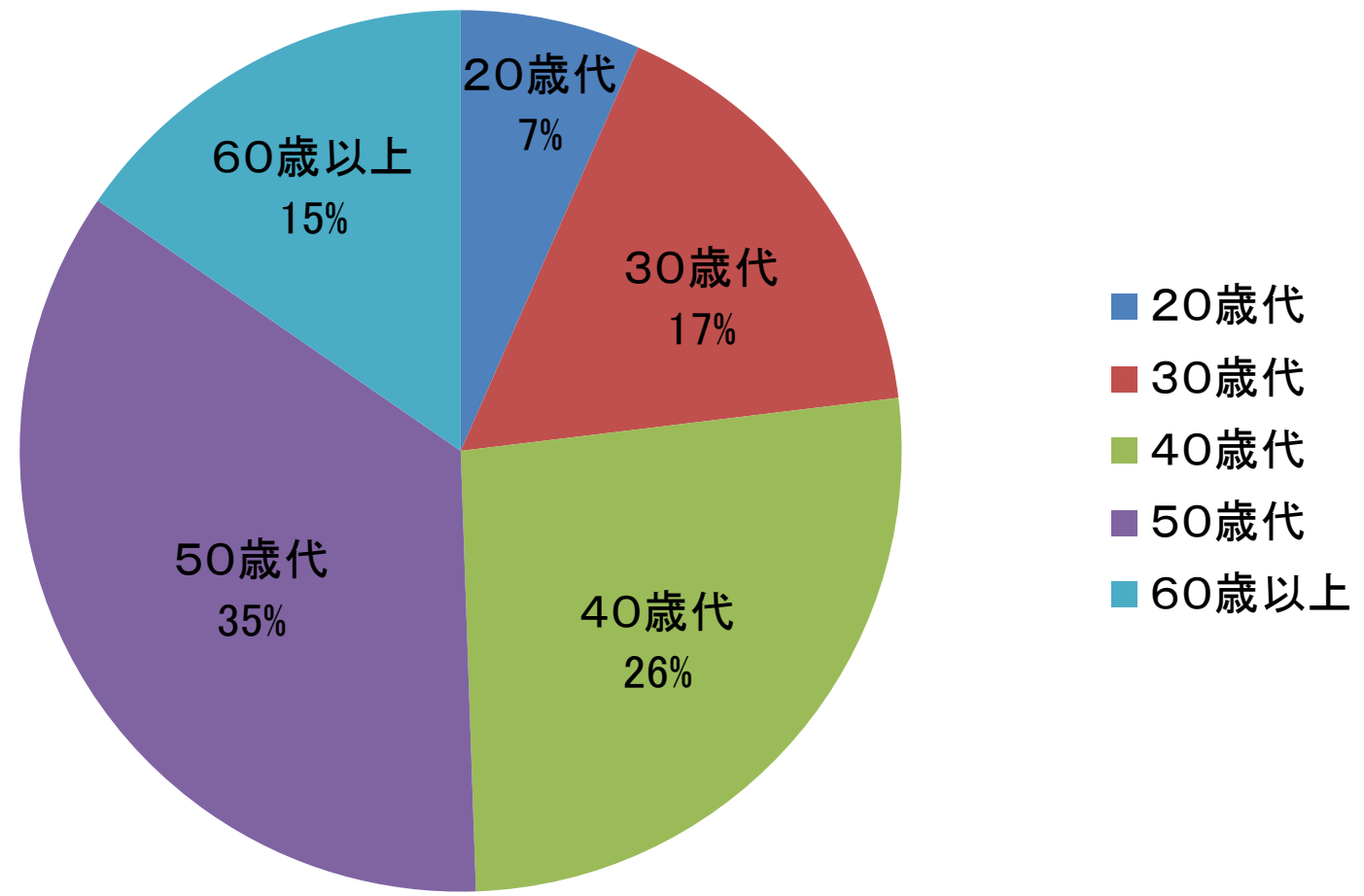
練馬区在宅療養推進事業  
第1回事例検討会  
-アンケート結果-

---

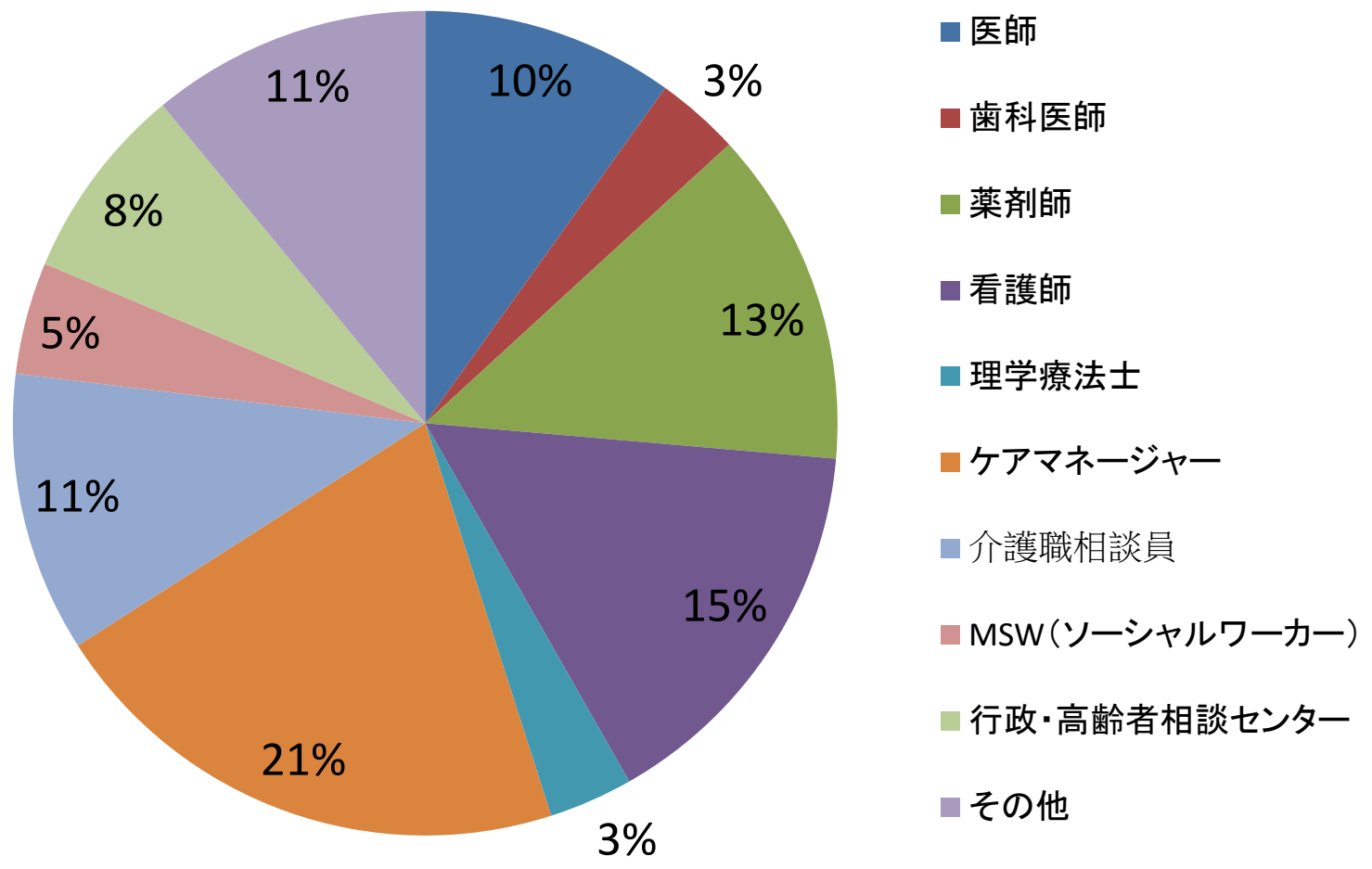
## 【設問1】回答者プロフィール①性別



## 【設問2】回答者プロフィール②年齢

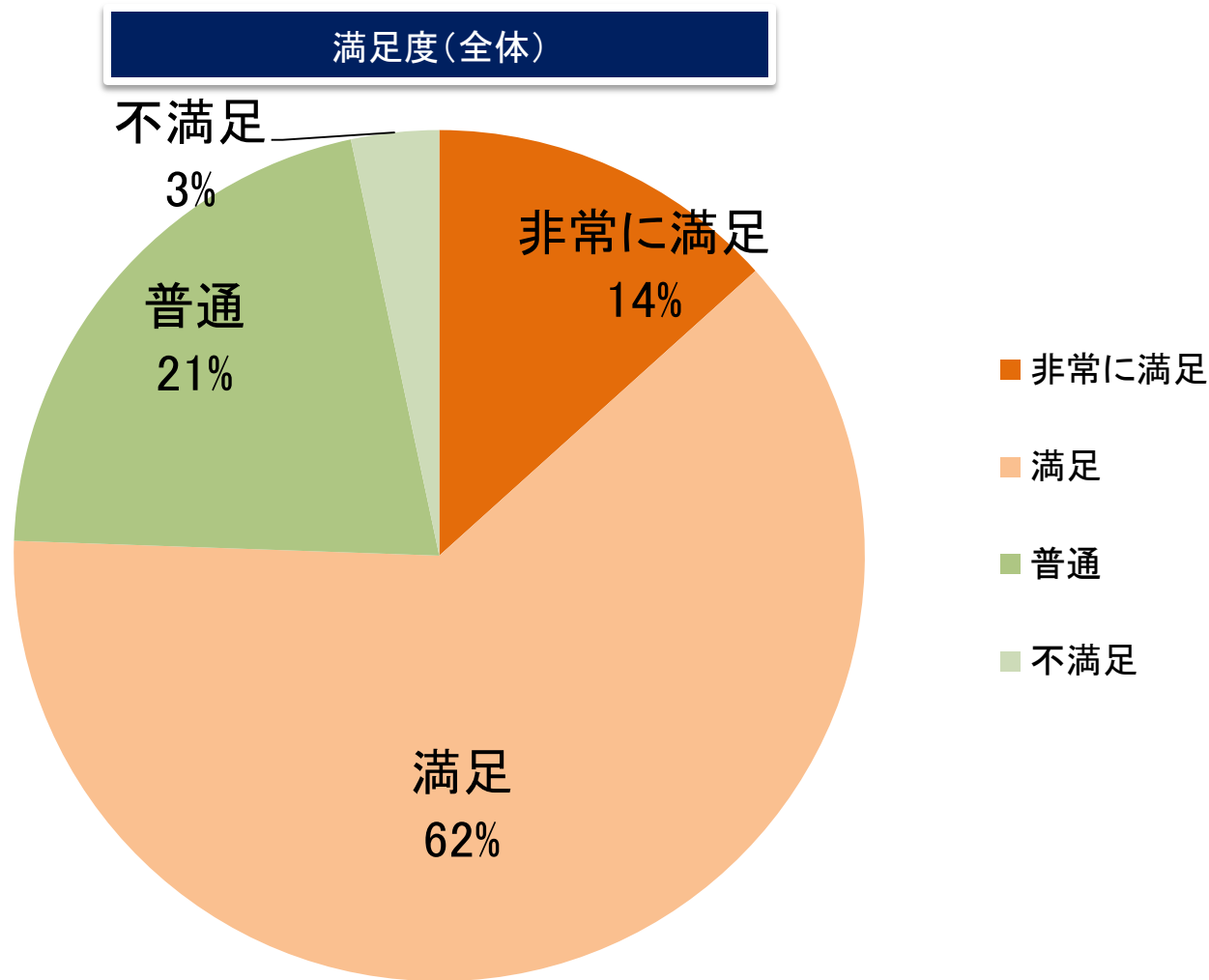


## 【設問3】回答者プロフィール③職種



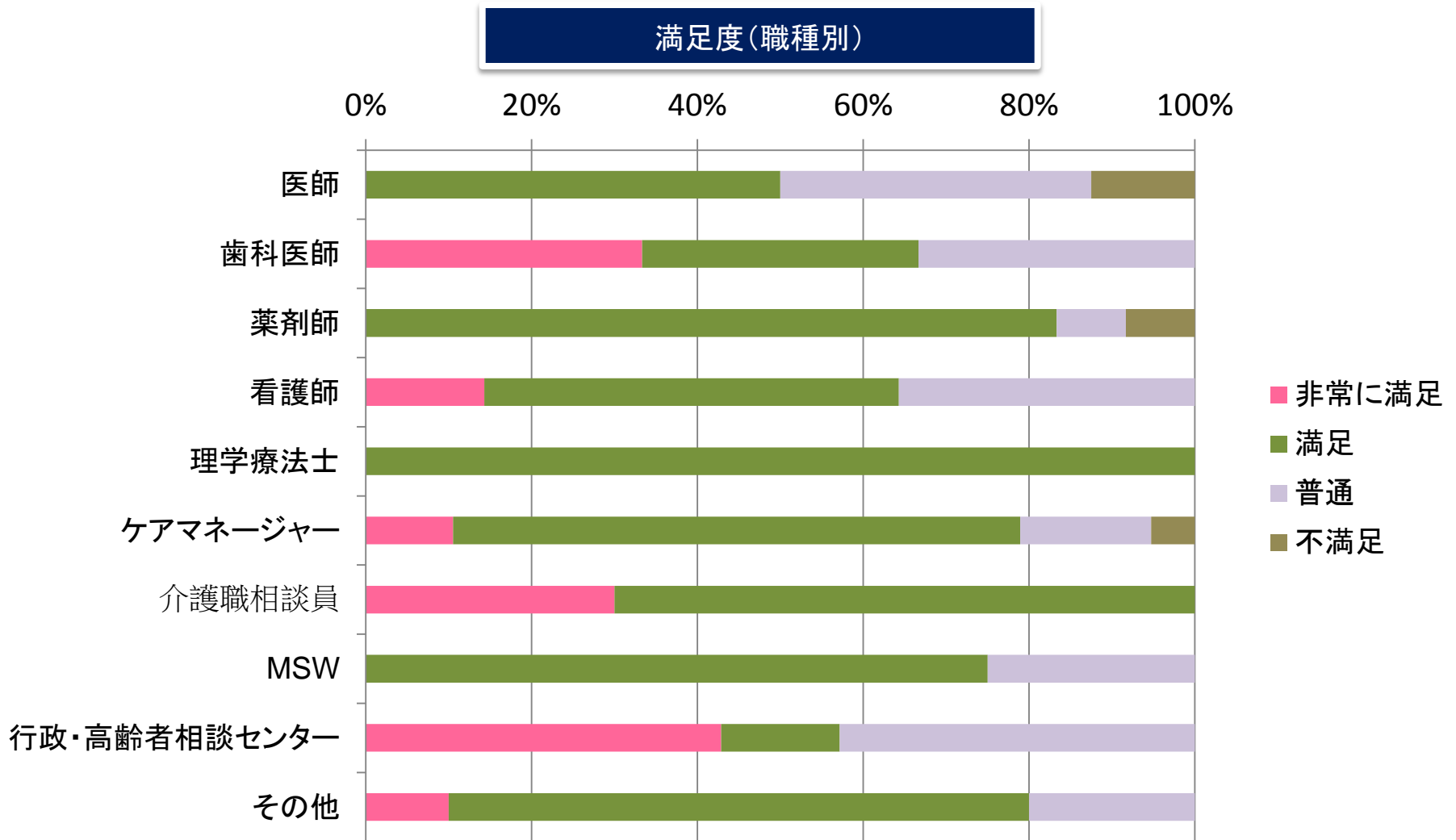
## 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(①全体)

■ 70%以上の方が満足したと回答



# 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(②職種別)

## ■ 医師については約半数が満足したと回答



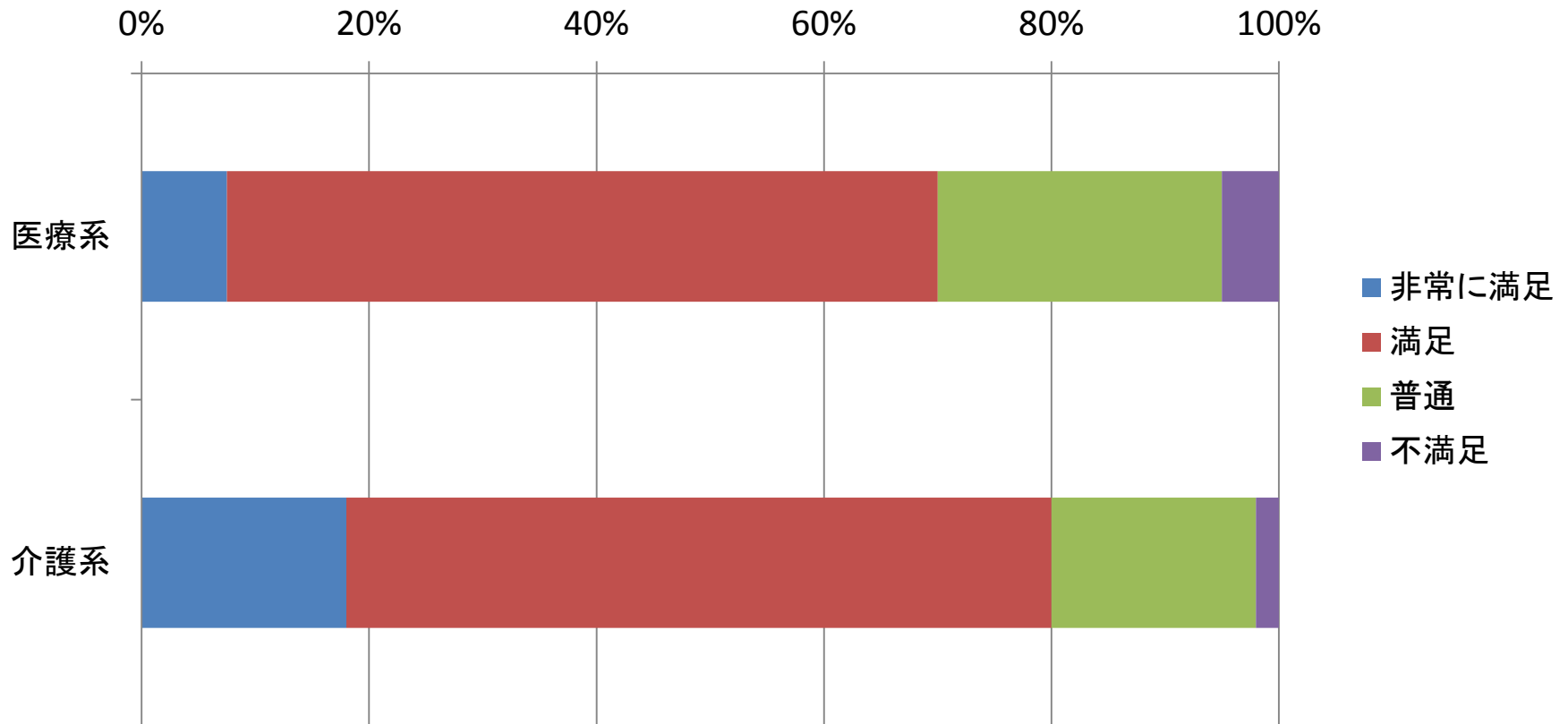
# 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(③医療・介護職別)

## ■介護系職種の方が満足度が高い

※医療系: 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士

※介護系: ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員

満足度(医療・介護職別)



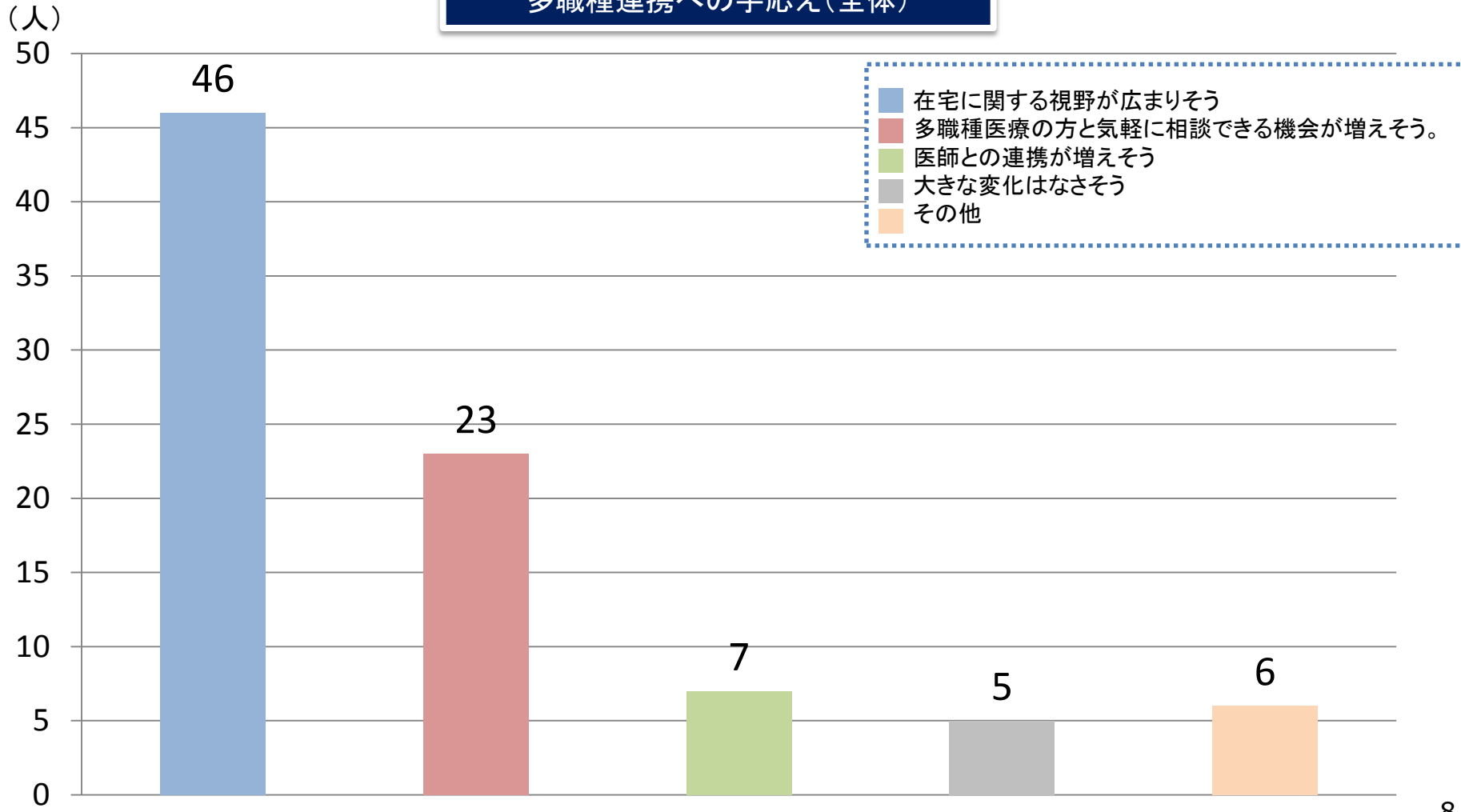
# 【設問5】事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？

(①全体)

※複数回答可

## ■約9割弱の方が何らかの手応えを感じている

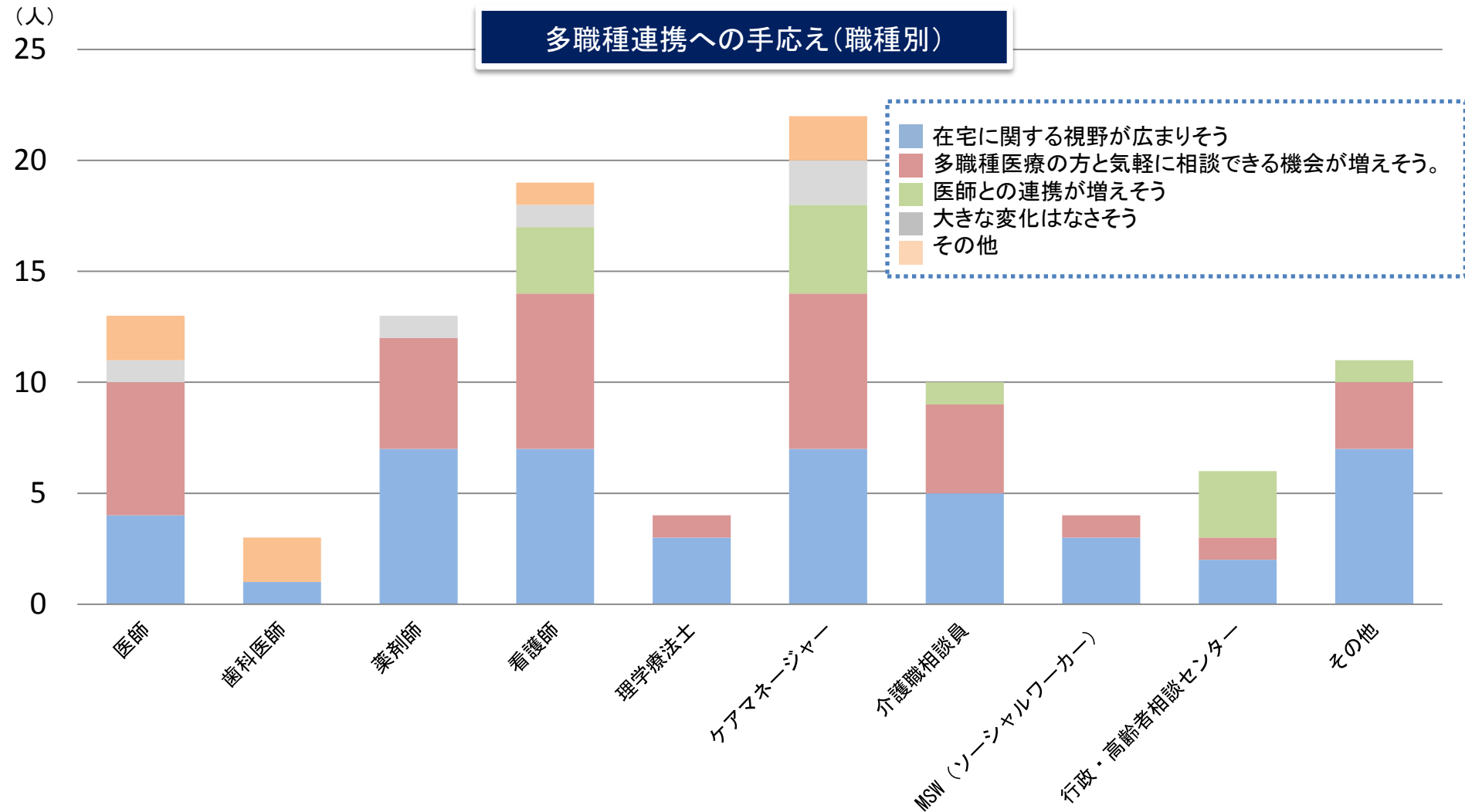
多職種連携への手応え(全体)





【設問5】事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？  
 (②職種別) ※複数回答可

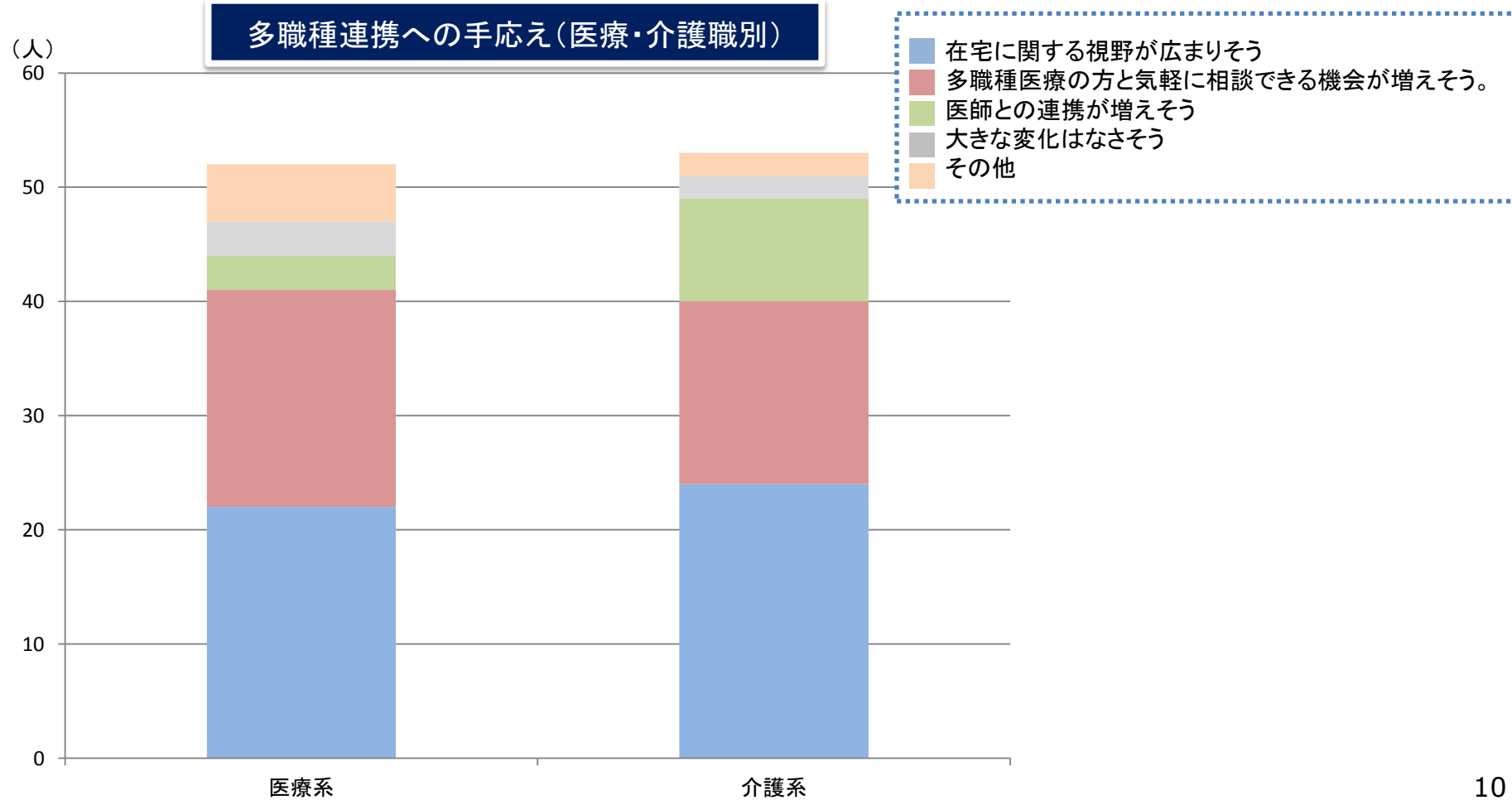
■ ケアマネジャーや訪問看護師は医師との連携が増えそうと感じている人が多い



### ■介護系職種の方は医師との連携が増えると感じている方が多い

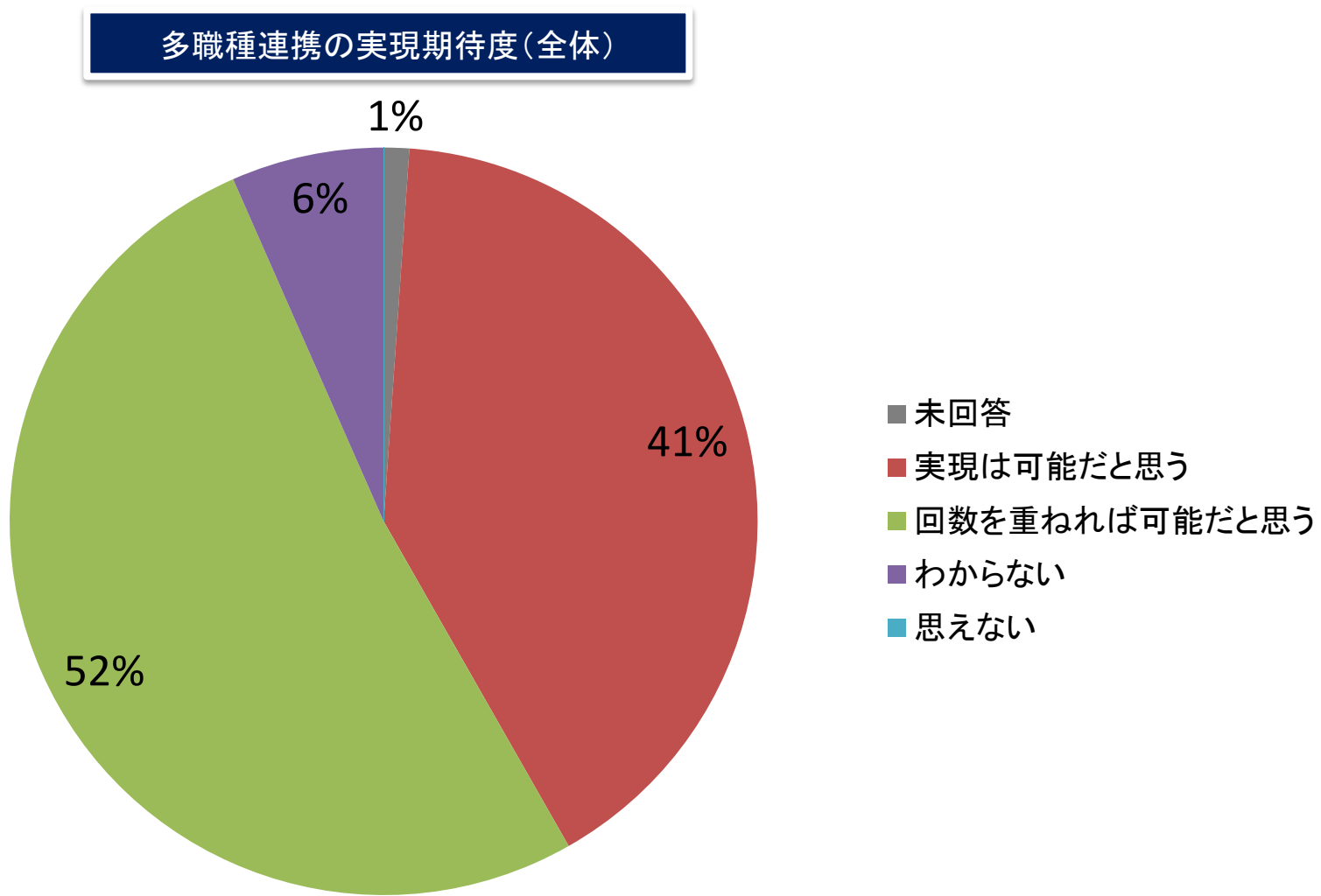
※医療系：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし

※介護系：ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。  
(①全体)

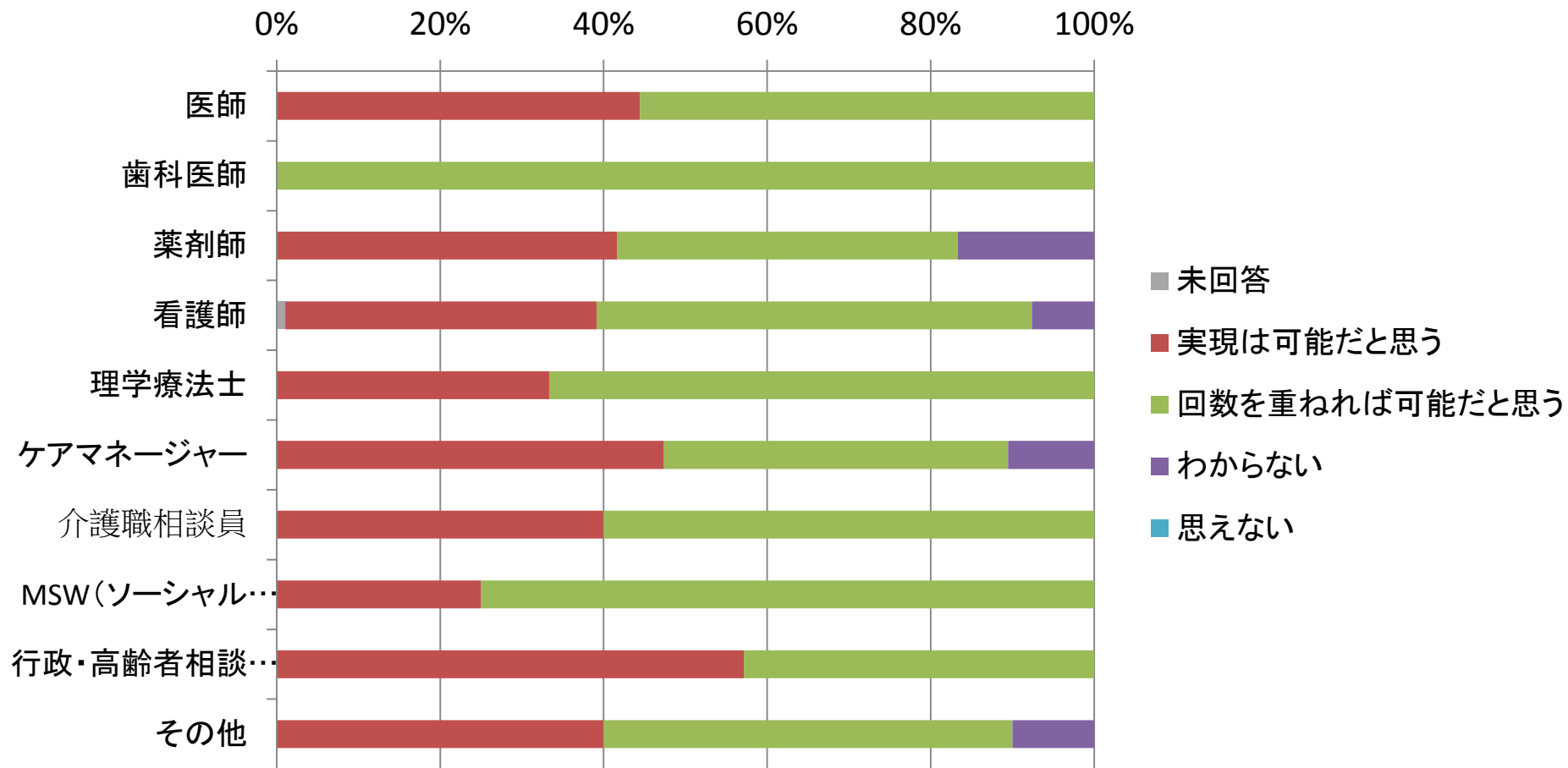
## ■ 約9割の方が実現可能と回答



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。  
 (②職種別)

■ 医師の全員が実現可能と回答

多職種連携の実現期待度(職種別)

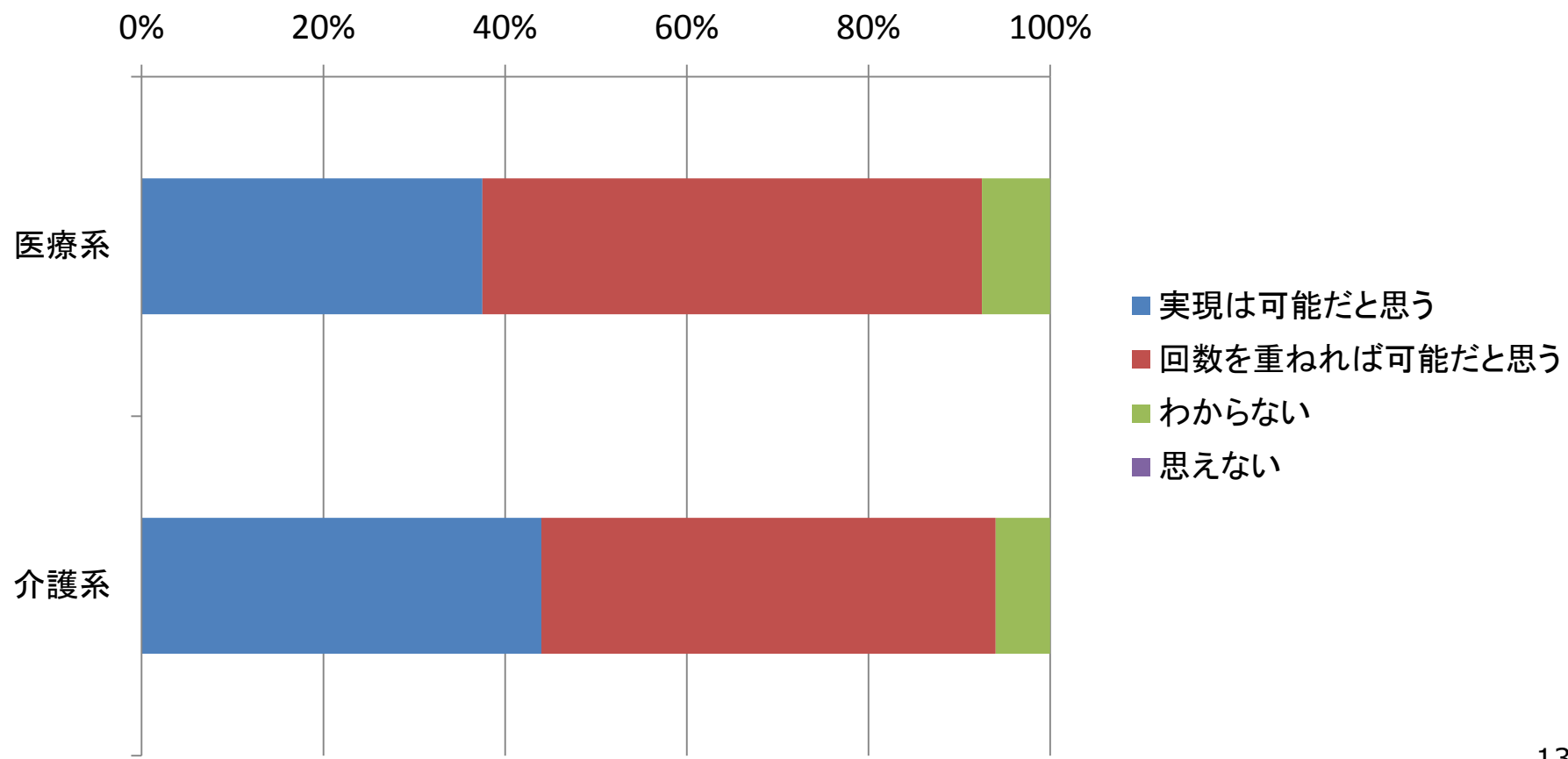


# 【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。 (③医療・介護別)

## ■介護系職種の方が実現期待度がわずかに高い

※医療系: 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし  
※介護系: ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。

多職種連携の実現期待度(職種別)



■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 1: 非常に満足を選ばれた方の理由

- ・多職種連携のすばらしさがよくわかった。
- ・在来の見取りという難しい内容を実践されていることが詳しくわかり良かったと思う。
- ・内容がとてもわかりやすく、共感できた。
- ・医療との連携がなかなかむずかしく看護側からの意見が聞けたこと。
- ・行政主催であることはとても意義深く、今年だけではない通年の企画にしていきたい
- ・今まで多職種の方々の生のお話を聞く機会はなかったのでとても新鮮で刺激を受けた。
- ・2例とも同じようなケースを担当したことがあり反省する点・同感できる点があり良い振り返りができた。
- ・明確に流れの説明があり理解出来ました。

### ■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 2: 満足を選ばれた方の理由

- ・一人の患者様について多角的な実際のかかわりを知ることができ勉強になりました。
- ・初めての参加で、他職種の方との連携がいいと思います。
- ・連携の取り方、撮れることができるのだと再確認できた。
- ・事例での問題が提示され、参考になった。
- ・グループワークもあったらよかった。皆様、真剣な態度。実際の体験談は参考になった。
- ・地域の医療従事者の方とお会いする機会が少ないので、お話を伺えてよかったです。
- ・多職種のそれぞれの役割、視点が理解しやすくなると思います。
- ・現場の話聞く機会は初めてでした。特に問題点はとても参考になりました。
- ・みなさんの苦労がわかりました。
- ・多職種連携についての勉強ができてよかった。
- ・特に医師の説明がわかりやすかった。現場で起きている問題の事例がわかったので。
- ・経験のない事例は大変勉強になった。
- ・多職種の方から見た一人の症例について様々な意見があった
- ・事例を通して支援の仕方を確認・学ぶことができた とても参考になりました
- ・在宅での様子や事例の実際の声がわかった。
- ・困難な事例と高事例があり、それぞれ自分の立場に当てはめて考えることができた。
- ・今後の関わり方の参考になった。
- ・他事業所の患者さまとの関わり、工夫など知ることができてよかった。グループでの交流時間があってもよかった。

### ■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 2: 満足を選ばれた方の理由 (continued)

- ・他職種で集まる機会はとても重要だと思う。
- ・自分の職種として何ができるのか？と考える機会が頂けた。
- ・事例を教諭しお互いのスキルをUPしていくことは大切だと思う。
- ・事例を聞くことができて良かったです。もう少し時間があればよかったです。
- ・在宅でがんを担当したことがなかったが今後はどんな疾患でも同じと思えた。
- ・とてもよい内容でした。いろいろな事例を見ることで次の事にうまくつながっていく。
- ・事例をもとに考えることができた。
- ・二つの事例が対照的で改めて告知の重要性を感じた。
- ・現状を聞き、その難しさが理解出来ました。
- ・参考になる事例があり看取りは家族に気を使うことが重要と思った。
- ・事例で具体的な様子があり、各職種のかかわりがつかめた。
- ・ターミナルにおける多職種の介入を段階的に分けることで関係者が心の動きをよみとり、支援ができた。
- ・事例検討会に参加することによって今後に生かせるなと思いました。
- ・他の診療所の方の事例をきくことができ、有意義でした。
- ・とてもよく取り組まれていることがわかり、刺激を受けました。
- ・連携の大切さに改めて気づいた。
- ・他職種の方と話ができる機会はあまりないのでよかったです。
- ・在宅医療にはまだ関わっておりませんが、在宅での難しさ等を知ることができ、勉強になりました。



### ■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1:非常に満足 2:満足 3:普通 4:不満足

### 3: 普通を選ばれた方の理由

- ・いろいろな視点からの話を聞くことができて良かった。
- ・他職種の連携部分についての発表が聞きたかった。
- ・本人の家族の許可を加えてまとめていただきたい。
- ・特に目新しいことはなかった。
- ・質問時間がもう少し欲しいと思った。レクチャーは勉強になった。。
- ・もっと内容の深みやディスカッションがあると良かったです。
- ・もう少し多職種の連携について話をしていただきたいかったが、皆様のケースに対する関わりやお気持ちがよく伝わった。
- ・先生の声が聞こえづらかった。
- ・症例A: 訪問診療導入にあたり、必要性の有無は別として、患者サイドからの希望を十分考えていたのかについては疑問。  
症例B: 導入時に方向性への話し合いなどが不十分だと思った。
- ・事例に関してDr、Ns、Cmがどのように経過をたどったのか理解出来ました。
- ・連携の横のつながりをより知りたい。
- ・検討会の進め方が双方向でなく受動的に感じた。
- ・グループ内での意見交換があったほうが良かったと思う。
- ・事例の用紙も配布してもらいたい。

■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 4: 不満足を選ばれた方の理由

- ・検討会になっていない。医師同士のバトル。
- ・新しいことが何もない。
- ・質疑応答の時間が少ない。

### ■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

#### 1: 在宅医療に関する視野が広がりそう、選ばれた方の理由

- ・病院のMSWだと退院後の患者様の様子が見えづらい事が多く、勉強になりました。
- ・在宅での看取りは必要だと思うから。
- ・在宅医療での問題点が他職種からみる問題を知ることができた。
- ・退院前にカンファにもっと参加してもらえるのかと期待したいと思います。期待したいです。
- ・いろいろなかたとかかわり、在宅のケアが成り立つと実感した。
- ・在来医の先生が身近に感じられる。
- ・今まで他職種と協力して行ったことがなかったので、勉強になった。
- ・現在在宅を行っていないが、必要性が理解できたので。
- ・まだ在宅医療の入り口にしか関わっておらず、看取りという難しい良い事例を通して医師、看護師、ケアマネとの連携の大切さを知った。
- ・他のサービス間の情報教諭は必要なことを再認識しこれからも他サービスの方々と連携が取れればと思います。
- ・医療連携するために多職種の方との相談が心の支えとなりますし、ご利用者の皆様に安心感を与えることができるので協力していきたい 在宅へつなげていくためには広い視野が必要であると感じている。
- ・顔が見えるつながりが持つことができたと思います。
- ・連絡をとる相手先が明確に見えたため 顔の見える関係づくりは相談の機会を増やすことだと思う。
- ・顔の見えるつながりできるため。
- ・他職種の理解が進む。こまめに情報共有することの必要性を感じた。

■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？  
(複数回答)

1: 在宅医療に関する視野が広がりそう、選ばれた方の理由(continued)

- ・普段関わりのない病名などの話を聞くことができ勉強になった。
- ・職種によって着眼点がちがうことに気付かされた。
- ・他職種の方の仕事を知ったうえで薬剤師として何ができるかを考えたい。
- ・訪問での在宅医療、看護、介護などの重要性が理解できた。

### ■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

#### 2: 多職種の方と気軽に相談できる機会が増えそう、選ばれた方の理由

- ・顔の見える関係が作っていきそうだから。
- ・せっかくグループ分けしていただいたので、グループごとに何かを話す機会があればより嬉しかったです。
- ・他職種との関わりの方が少ないため、なかなか機会がなかったから。
- ・薬剤師の仕事はなかなか理解されづらい。
- ・現場でも交流はしていたが、もっと今以上に交流を持とうと思えました。
- ・気軽に相談できる医師が増えることはとても有難いこと。
- ・他職種との連携がとても重要ということを再確認することができたのでよかった。
- ・チームづくりの必要性で早い手当ができると思う。
- ・今回参加した事により横のつながりができたので今後は相談しやすくなると思った。
- ・一度でも顔を合わせるといのは大切と考える。
- ・一日の業務が多忙の先生と細かい相談をするのは申し訳ないという思いで、相談をしそびれていることもあります。
- ・こういう交流会を通して医師の人柄がわかればもう少し相談がしやすくなると思います。

■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？  
(複数回答)

3: 医師との連携が増えそう、選ばれた方の理由

在宅における要はやはりDrであり、Drが在宅の様々な職種の連携を受けてくださるとありがたい。

4: 大きな変化はなさそう、選ばれた方の理由

〈選択された方なし〉

5: その他

ケースに応じて様々な対応ができるようになりたい。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

### 1: 実現は可能だと思う、を選ばれた方の理由

- ・ディスカッションが必要だと思う。
- ・もう少し開催頻度が必要だと思う。
- ・多職種の方と顔を合わせる機会が出来るだけでも連携の第一歩だと思う。
- ・顔が見える関係を構築していくことで連携しやすくなると思います。
- ・医療との連携がこれから多くなっていくと思います。色々なケースがあると思います。
- ・このような勉強会を多く開いていただきたいと思います。
- ・事例を数多く見たり聞いたりできれば参考になるし、問題や困難は必ず乗り越えられるので積極的な見方をしていきたいと思った。
- ・実現は可能というか、実現していくべき時代に入っていくのだと思っている。
- ・他職種でかかえている問題がそれぞれ異なるとわかった。
- ・お互いの職種の役割の理解を深めることができた。
- ・互いの状態をよく知ることから始まるから。
- ・何件かの見取りに係わらせていただき、連携の素晴らしさを実感しています。
- ・絶対的な必要性を感じています。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

### 2: 回数を重ねれば可能だと思う、選ばれた方の理由

- ・長期的な取り組みをして、続けていくしか無いと思います。
- ・すぐにはできない。でも回数を重ねれば可能だと思っています。
- ・全てに対し人員が不足しているのでは。
- ・問題を拾えば必ずプラスはある。
- ・回数は必要だと思っています。なしとげないとならないことがみんなでも実現できるまで続けることだと思っています。
- ・これからの課題であるため、連携も蜜にしたいです。
- ・色々な問題はありますが、回数を重ねていけば可能だと思うし、連携していかないとこれからはダメだと考えています。
- ・良い事例をすることで、参加者のモチベーションや連携意識が上がると思います。
- ・お互いの職種の間が理解ができるようになると思う。
- ・今のところ、医院の環境のフットワーク的に無理ではあるが、今後考えていきたい。
- ・経験を積まないといけないことはたくさんあると思う。
- ・今回の検討会で必要性は理解できたが、連携で行うにあたりまだ不安があり、実現の展開がみえないので検討会の回数は必要だと思う。
- ・それぞれが必要とされているから勉強会での事例検討によって理解が深まると思う。
- ・あいさつからのスタートですが、各々の仕事を知り、知り合うことで、連携につながると思いました。
- ・顔を合わせることで連携が取れると思います。
- ・コミュニケーションがとれればより充実した連携が取れると思うため。



■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

### 2: 回数を重ねれば可能だと思う、を選ばれた方の理由

- ・支援は作り上げていくしか無いと思う。
- ・何回か回数を重ねると可能だと思います。
- ・社会資源の情報が一元化され、各々の事業所・医療機関に提供されると良い。
- ・様々な情報が共有されると地域ごとの連携がすすむと思います。
- ・一回のみでは充分でないと思う。
- ・相手を知ることから連携はうまくいくようになると思います。
- ・異なる職種でもお互いの考え方などが少しでも理解できるようになることでより良い連携が取れるようになると思います。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

3: わからない、選ばれた方の理由

コメントされた方なし

4: 思えない、選ばれた方の理由

〈選択者なし〉

### ■設問:ご意見ご要望

- ・こういった機会をきっかけに練馬区の在宅療養も充実すると思います。
- ・もう少し早い時間から始まると嬉しいです。
- ・第二・第三と続くのを楽しみにしています。
- ・今回グループにより事例内容が異なりましたが、地域が異なりましたが、参加できてよかったと思います。
- ・今回の狙いがわからない。テーブルしても、会話をする機会もなく、一言も話さないヒトもいた。
- ・事例についで、テーブルで話し合えたら良かったと思います。
- ・大変申し訳無いが、近隣行政との取り組みのレベルが違いすぎる。一世代前の会では意味が無い。
- ・それぞれの専門性を活かせるものにしてほしい。
- ・在宅医療の推進のためにはもう少し頻度を上げて、事例検討を少人数で多職種でおこなうのがよいかと。
- ・在宅医療に関心のあるお医者さんがよくわかる。出席しない医師はこのコトに興味ない。
- ・質疑応答の時間が少なかったと思います。
- ・区の方でしょうか。スマホをずっといじっていた方。何にでしょうか。仕事なんですかね？
- ・医師の方から、担当者会議の意義が出されたことは大変嬉しく思いました。
- ・会場が大きすぎた。
- ・時間が短かった。
- ・レジュメが欲しかった。
- ・もう少し早い時間の開催を希望します。

### ■設問:ご意見ご要望

- ・素晴らしい事例検討会にお招きいただきありがとうございます。背景にはたくさんの方々のご尽力があったことと思います。
- ・感謝致します 質疑応答の時間が少なかったのが残念です。
- ・まだまだ在宅は正解がなく試行錯誤が多い分野です。その中で苦労している事例をもっと発表し合える環境づくりが必要と思います。
- ・薬剤師の関与できた事例もあつかってほしい。
- ・告知についてどの時点でだれがやるの。
- ・平日の時間としては9時頃までだと助かります。
- ・空調がやや効きすぎていて少し寒かったです。
- ・今後は往診を行っていないDrとの連携で在宅生活の支援体制を伺いたい。
- ・エアコンが効きすぎていて寒いです。全ての皆様に感謝致します。
- ・多職種が交流することで在宅での正活が非常に良くなっていくと思いますので今後共続けてもらいたいです。
- ・とてもよかったです。医師の参加者も多くて少しずつ連携がとれて行けそうに思う。今後もこのような検討会があるときは参加させていただきたいと思います。
- ・介助師のかたの参加が少なかったのが残念。
- ・全体のディスカッションはやったほうがいいと思いました。